

新学校給食センター建設候補地を仁礼地区にこだわらず、
早期建設を求める決議

須坂市学校給食センターは、昭和 51 年建設以来 39 年が経過し設備、施設ともに老朽化が目立ち、施設の建て替えは急務であることはだれもが認識しているところである。

しかし、新学校給食センター建設候補地の選定にあたり、当初予定されていた候補地が諸事情で白紙撤回されて以降、新たな候補地の選定について具体的な提案がされず、議会答弁の中では仁礼地区に計画されている一般廃棄物最終処分場建設とセットではないと言いながらも仁礼地区に建設受け入れを要請しているとの方針が示されている。

学校給食センターは児童、生徒への食育に重要な役割を果たしていることはもちろん、安心、安全な食の確保、十分な栄養確保のために欠くことのできない分野であるため、安全で安定した供給体制を切れ間なく構築することは当然のことである。

したがって、新学校給食センター建設候補地については仁礼地区にこだわることなく、可及的速やかに決定し早期に建設されるよう強く要請する。

以上決議する。

平成 27 年 9 月 29 日提出

須 坂 市 議 会